

事業群評価調書(令和6年度実施)

基本戦略名	3-3 安全安心で快適な地域を創る	事業群主管所属・課(室)長名	県民生活環境部 地域環境課	吉原 直樹
施策名	4 豊かできれいな海づくり、くらしやすい環境づくりの推進	事業群関係課(室)	諫早湾干拓課、水環境対策課	
事業群名	① 大村湾・諫早湾干拓調整池の水質改善	令和5年度事業費(千円)	※下記「2. 令和5年度取組実績」の事業費(R5実績)の合計額	648,739

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)										(取組項目)	
閉鎖性の強い海域である大村湾の環境保全と活性化を図るため、流入負荷抑制対策、生物多様性の保全及び流域住民の親水意識醸成等に取り組みます。 また、諫早湾干拓調整池の水質改善のため、流入負荷削減対策など、国、県、市の関係機関で連携して取り組みます。										i) 大村湾・諫早湾干拓調整池の水質改善 ii) 大村湾周辺の里海づくり	
事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	大村湾の水質 (COD※75%値平均) ※COD(化学的酸素要求量)の略。海域、湖沼の水の有機汚濁物質等による汚れの度合いを示す指標。	目標値①		2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L (R7)		
		実績値②	2.0mg/L (R元)	2.4mg/L	2.0mg/L	2.3mg/L			進捗状況		
		達成率②/①		0%	100%	0%			遅れ		
事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	令和5年度の大村湾の水質は、COD75%値平均が2.3mg/Lであり、目標を達成できなかった。原因としては降雨による流域からの汚濁負荷の流入などさまざまな要因が考えられる。 また、諫早湾干拓調整池の水質は目標値を超過した状況が続いており、流域からの汚濁負荷や調整池内の底泥の巻き上げ、水温上昇による植物プランクトンの増大などさまざまな要因が考えられる。 いずれの水域においても負荷削減対策を継続して行うことが必要である。	
	諫早湾干拓調整池の水質 (COD 75%値平均)	目標値①		—	—	—	—	5.0mg/L	5.0mg/L (R7)		
		実績値②	8.6mg/L (R元)	8.0mg/L	9.3mg/L	9.0mg/L			進捗状況		
		達成率②/①		—	—	—	—	—	—		

2. 令和5年度取組実績(令和6年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要 令和5年度事業内容及び実施状況 （令和6年度新規・補正事業は事業内容）	指標（上段：活動指標、下段：成果指標）				令和5年度事業の成果等
				R4実績	うち 一般財源	人件費 （参考）		主な指標	R4目標	R4実績	達成率	
				R5実績					R5目標	R5実績		
				R6計画					R6目標			
				事業実施の根拠法令等				事業対象				
				事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業			他の評価 対象事業 （公共、研究等）			
所管課（室）名												
取組項目 ⅰ ⅱ	○	1	みらいにつなぐ大村湾 事業	6,081	5,264	7,653	●事業内容 「第4期大村湾環境保全・活性化行動計画」（行動計画）に基 づく取り組みを推進し、「1”宝の海”大村湾」の実現を目指す。 ●実施状況 行動計画に掲げる事業の進捗管理を行ったほか、環境改善 や沿岸を含む地域活性化を図るため、造成済みの浅場を活用 した体験活動、関係団体と連携した大村湾内の浮遊ごみの除去 等を実施した。	【活動指標】 大村湾体験活動実施 回数（回） 【成果指標】 大村湾の水質 （COD75%値平均） （mg/L）	2	3	150%	●事業の成果 ・令和5年度は水質目標を達成できなかった。関係機 関と連携した対策の継続が必要である。 ・造成済の浅場を活用した浅場体験学習を実施し、 水質保全の必要性に関する啓発を行った結果、親水 意識の醸成につながった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・地元市町やボランティア等関係団体と連携し、浅場 の維持・管理を行うとともに、環境学習の場として活 用することで、親水意識の醸成とともに、水質改善に 寄与した。
				4,062	3,226	7,659			5	5	100%	
				5,824	4,256	7,003			3			
				第4期大村湾環境保全・活性化行動 計画					2.0	2	100%	
			R元-5、R6-R7			2.0	2.3	0%				
			地域環境課	—	—	—	大村湾流域	2.0				

取組 項目 1	2	諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業	5,474	0	6,122	●事業内容 「第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画」(行動計画)を推進し、水質保全目標の達成を目指す。 ●実施状況 行動計画に掲げる事業の進捗管理を行ったほか、流入河川の水質等の調査、イベント等へ参加し水質保全に関する啓発活動を行った。	【活動指標】 R4,R5 諫干イベント参加者数(人)	3,000	1,000	33%	●事業の成果 ・地域イベントへの参加やチラシの配布等により水質保全に関する啓発を行った結果、環境保全への意識醸成につながった。	
			5,986	65	6,128			3,000	1,200	40%		
			3,762	255	7,003			2				
			第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画				【成果指標】	—	9.3	—		
		H25-				諫早湾干拓調整池水質(COD mg/L)	—	9.0	—			
		地域環境課	—	—	—	諫早湾干拓調整池		—				
	3	(企)大村湾南部流域下水道事業費(公共)	490,366	0	—	●事業内容 大村湾南部流域下水道事業は、大村湾南部流域の水質保全のために、終末処理場などの整備を行うものである。なお、事業推進のためには、流域関連市との連携が必要であることから、議論を進めていく場として協議会を設けている。 ●実施状況 令和5年度は大村湾南部浄化センターの水処理施設を高度処理化する工事や、ストックマネジメント計画に基づく浄化センター内の汚泥濃縮機などの設備更新を行った。	【活動指標】	5	5	100%	●事業の成果 ・高度処理化工事や浄化センター内設備の更新工事など、汚水処理施設の整備を図った。 ・なお、高度処理化工事については、6系列の水処理施設のうち、3系列目の工事を完了し、運転を開始した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・高度処理化工事等を推進することにより、大村湾の水質改善に寄与した。	
			634,068	0	—		協議会等開催回数(回)	5	5	100%		
			614,985	0	—			5				
			下水道法				【成果指標】	100	100	100%		
		H5-R22				放流水質の遵守基準の達成率(%)	100	100	100%			
		水環境対策課	—	—	○	大村湾流域		100				
	4	諫早湾干拓課干拓周辺地域環境保全型農業推進委託事業	8,500	0	—	●事業内容 諫早湾干拓周辺地域環境保全型農業推進委託事業については、諫早湾干拓周辺地域における調整池水質保全に係る営農実態調査、施肥改善対策推進、流域負荷軽減対策の効果検証を行っている。 ●実施状況 諫早湾周辺地域において、ブロッコリー等の減肥技術試験園設置による環境保全型農業の現地実証、研修会での浅水代かきや土壌流出防止に向けたカバークロップ取組み推進の周知、啓発チラシの配布を行い、環境に優しい農業の推進を図った。	【活動指標】	3	3	100%	●事業の成果 ・肥料使用量削減等の環境保全型農業による現地実証や啓発等により、環境に優しい農業の推進が図られた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・現地実証や啓発等により、諫早湾干拓調整池の水質改善目標達成に向け寄与した。	
			8,685	0	—		国、関係機関との事業打合せ(回)	3	3	100%		
			9,028	0	—			3				
							【成果指標】	3	3	100%		
H25-R6		—	○	—	啓発活動等の実施(現地実証・研修会・チラシ作成)(回)	3	3	100%				
	諫早湾干拓課	—	○	—	諫早湾干拓調整池		3					

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 大村湾・諫早湾干拓調整池の水質改善	
●実績の検証及び解決すべき課題 (大村湾関係) ・大村湾のCODは年ごとに変動はあるものの長期的には改善傾向にあると考えられ、令和4年度など基準を達成する年もある。一方、湾奥部などはCODが高い傾向が見られる。原因は様々考えられるが、まずは、行動計画に掲げる各種の対策を着実に実行する必要がある。 (諫早湾干拓調整池関係) ・諫早湾干拓調整池のCODは水質保全目標を達成していない状況が継続している。原因は様々考えられるが、まずは、行動計画に掲げる各種の対策を着実に実行する必要がある。	●課題解決に向けた方向性 (大村湾関係) ・「第4期大村湾環境保全・活性化行動計画」に基づき、引き続き関係機関一体となって、流入負荷抑制対策や流域住民への親水意識醸成への取組等を進めていく。 (諫早湾干拓調整池関係) ・「第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画」に基づき、引き続き関係機関一体となって、生活排水対策、面源負荷削減対策等の各種施策を進めるとともに、水質保全目標達成に向けた追加対策についても検討を進めていく。
ii 大村湾周辺の里海づくり	
●実績の検証及び解決すべき課題 ・造成した浅場は、鳥やエイ等の捕食跡や二枚貝の幼生の生息が確認されており、生物の生息の場として機能していると考えられ、引き続き、清掃等の維持・管理が求められる。 ・親水意識の向上のための体験学習等を行っているが、大村湾の環境保全のため、継続する必要がある。	●課題解決に向けた方向性 ・造成した浅場の利活用及び維持・管理について、地元市町や関係機関等の取組を支援するとともに、流域住民を交えて親水意識向上に向けた取組を実施していく。

4. 令和6年度見直し内容及び令和7年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和6年度事業の実施にあたり見直した内容	令和7年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 ii	○	1	みらいにつなぐ大村湾事業	新たに大村湾の現状を把握するための「海の健康診断」を行うこととしているが、他の業務を含め業務量の上乗せにならないよう調整しながら事業を推進していく。	③⑤⑦	令和7年度は「第4期大村湾環境保全・活性化行動計画」の終期であり、後継の計画を策定する必要がある。 大村湾の水質改善のためには、流域の市町等関係機関が一体となって取り組む必要があり、現在の取組の改善や新たな取組の実施について検討しながら、策定作業を進めていく。	改善
			R元-5、R6-R7				
			地域環境課				
取組項目 i		2	諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業	—	③⑤⑦	令和7年度は「第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画」の終期であり、後継の計画を策定する必要がある。 諫早湾干拓調整池の水質改善のためには、九州農政局等関係機関が一体となって取り組む必要があり、現在の取組の改善や新たな取組について検討し、策定作業を進めていく。	改善
			H25-				
			地域環境課				

注:「2. 令和5年度取組実績」に記載している事業のうち、令和5年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

- 【事業構築の視点】
- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
 - ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
 - ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
 - ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
 - ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
 - ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
 - ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
 - ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改革要望)する必要があるか。
 - ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
 - ⑩ その他の視点